

# 教育改革の推進で学校の 独自性はどこまで可能か

あやせ市民会議 石井麒八郎

**問** 日本の社会構造は、少子高齢化社会の進行と家族や地域社会の変容、科学技術の進歩と産業就業の変換、地球環境問題の深刻化などにより大きく変化してきた。また近年、教育の現状は、青少年の凶悪犯罪、いじめ、不登校、学級崩壊など危機に直面している。国はこうした歴史の変動を見据え、子ども一人ひとりの能力にこたえる教育の実現を模索

しつつ、教育のあり方を根本的に見直し、新しい時代の「教育構造改革」を進めている。これに伴い、市は教育改革をどのように進めていくのか。また、学校の独自性をどこまで可能にできるのか。

**答** 教育の基本は、人格の完成を目指すことにあり、自ら学び考える力など、生きる力を育てることが大切である。その方法は、地域の特性を生かすべく、本市には本市の学校教育、特に日常の授業での指導、学級経営が重要と考えている。そのため、各学校で校内研究を推進し、分ける授業を目指した授業改善、よりよい評価のあり方などについて研究を深めている。また、独自性については、これまでも朝読書や地域の教育力の活用などにより、子ども達の豊かな心をはぐくむ努力をしてきた。今後も、地域に根ざした独自性の研究を深めていきたい。

# 地域福祉の充実を 図り地域見守り体制の早急な実現を

あやせ市民会議 青柳 慎

**問** 地域福祉の充実に向けて、高齢者が住み慣れたところで安心して暮らしていけるように市民と行政が協働してまちづくりを進めていかなければならない今こそ、地域社会の連帯意識を高め、地域の人たちが互いに助け合つ心を持って進めていかなければならないと考える。ひとり暮らしの高齢者、障害者が今まで以上に安心して暮らしていけるように

地域内の見守り体制を早急に実現するため、市では自治会関係、老人クラブ、ボランティア組織に対して、どのように働きかけているか。

**答** 高齢者のひとり暮らしや夫婦のみの世帯には、緊急通報システムなどの各種対策支援を、また、地域においては、民生委員などによる見守り活動が行われている。このような体制を全体的にするには、地域の住民が相互に助け合い、支え合う関係を作ることが最も大切である。市としては、高齢者、障害者の見守り体制など地域福祉の諸問題について地域福祉計画に反映すべく、集約をしている。今後も、自治会、社会福祉協議会等を中心に、地域福祉推進の確立を目指して取り組んでいく。

(他に「子育て支援の一環として」「市道十六号線の整備に向けて」「綾南小学校前の歩道整備について」を質問)

# 一般質問

一般質問は、提出された議案にかかわらず、市政全般に対して、議員が執行者の考え方をたずねることができるものです。6月定例会では、6月19日・20日の本会議で16人の議員から質問が行われ、終始熱の入った論議が繰り広げられました。以下は質問・答弁の概要です(掲載は質問順、5面まで続きます)。

## 東名高速道路綾瀬インタ ーチェンジの早期実現を

あやせ市民会議 増田淳一郎

**問** 新時代あやせプラン21によると平成三十二年に人口が十万人になることを想定しているが、長引く日本経済の低迷で企業の縮小やリストラの影響を受け、想定人口に達するのは至難の業である。鉄道駅のない本市では東名高速道路のインターチェンジを造り、企業を誘致し、雇用の場を確保して人口を増やすことが先決である。「綾瀬インターチェンジ設置促進連絡協議会」の会長を務める市として地元市民の熱意が県や国の関係機関に届くよう、市全体の盛り上がり方が欲しいが、市として何か考えはあるか。

**答** 東名高速道路の綾瀬インターチェンジ設置は、平成十二年四月に創設された地域活性化インターチェンジ制度を活用するものであり、これまで、市民アンケート調査の実施や七市一町の首長で設置促進連絡協議会を設立するなどその実現に向けてさまざまな取り組みをしてきた。今後モーターチェンジ設置を促進するため、広報の特集号発行の検討、パンフレットの活用による市民への

周知など、さまざまな機会を利用し、綾瀬市民のみならず、周辺市町を含めた盛り上げを図っていく。

(他に「未利用農地の有効利用について」「公道に廃棄された自動車や自転車の処分について」を質問)



7月7日、市制施行25周年記念事業の一環として、男女共同参画社会講演会が「おもいやりのコミュニケーション」をテーマに開催され、市内外から約140人が参加しました

## カラスや不法投棄 等で乱雑な墓園の 早急な対策を求む

あやせ市民会議 中野 昌幸

**問** 本市の墓園事業は、他市に先駆け、平成元年度より第一次分として六百十二区画が整備され広く市民に喜ばれているが、今後、ますます高齢化、核家族化が進んでいく状況

から、公営墓地の必要性がさらに高まると考える。第二次墓園整備計画について、昨年、検討委員会に諮問し今年四月に提言書が提出されたが、その経過と内容は、市は、それをどのように受け止め取り組んでいくのか。また、墓園の現状は、不法投棄とカラスの糞もたらすごみやふん公害で非常に乱雑になっているため、利用者からクレームが出ており、この問題に早急に対応すべきと思うが。

**答** 提言書は、高齢化の動向を踏まえ、公営墓地として市民が容易に求められる、いわゆる経済的負担面や将来的な利用増大等の変化に柔軟に対応できることを考慮し、納骨式等の省土墓地の整備が望ましいとする内容であった。現在、基地南側の墓園に隣接する国有地の払い下げについて国と折衝を行っており、用地が確保され次第、公園整備などのまちづくり構想と整合性を図り、整



年に一度の七夕まつり。子ども達の願いを込めた短冊で笹の葉は一杯になりました。みんなの願いが叶うといいね

▲大上保育園にて▼

備を進めたい。また、維持管理は、(株)クリエイトに委託しており、管理費を安くするために最低限の清掃は行っていくが、その他については所有者にも協力願いたい。

次号は、11月15日の新聞(朝刊)に折り込みます。